

課題演習DC 「地球の鼓動を探る：熊本地震」

最大人員 6名

担当：久家慶子・平原和朗（地球物理）、大倉敬宏（熱学阿蘇）、加納靖之（防災研）



演習の概要

2016年4月14日にマグニチュード6.5、4月16日にマグニチュード7.3の熊本地震が発生しました。本演習では、この熊本地震をターゲットに、主に地震学的な手法から、公開されているデータなどを使って、地震の特性、地震が発生した環境や前後の地震活動などを調べます。

演習では、コンピューターを使った実習（プログラミングを含む）を行います。コンピューターの知識（例えば、Fortran等）があると容易ではありますが、必ずしも必要としません。コンピューターに不慣れな方は、少人数演習のこの機会にしっかり体得しましょう。

また、熊本地震で生じた事象を観察するために、11月祭期間中もしくは後期期間の週末に、1～2泊で熊本への巡検を予定しています。巡検の日程は履修者が決まってからメールで相談します（履修決定者はメールで久家へメールアドレスを知らせてください）。この巡検にかかる往復の交通費（現地集合・現地解散）、宿泊費等が必要となります。京都―熊本は、日によりますが、片道で高速バス約6000～9000円、飛行機約11000円、JR約16000円です。

演習の予定

■ 後期セメスター

熊本地震の概要、巡検の事前準備 大倉敬宏（熱学阿蘇）担当
データやカタログの解析、モデリングなど

加納靖之（防災研）・久家慶子（地球物理）担当

熊本巡検（1～2泊、11月祭期間もしくは週末）

京都市防災センターの見学 平原和朗（地球物理）担当

※ 昨年度まで夏季休暇中に観測実習を実施していましたが、今年度（2016年度）は行いません。